

## 2011 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 7 日作成)

小委員会名	建築空間の質感・色彩設計法小委員会		主 査 名：宮本 雅子 就任年月：2011 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (光環境運営委員会)		委員長名：佐土原 聡 主 査 名：佐藤 仁人
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築空間における材料の質感と色彩とがイメージに及ぼす相互作用を評価し、質感に対応した新しい色彩設計法を提案することを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 初年度：研究課題の展望、画像による色彩・質感記録に関するシンポジウムの開催</li> <li>・ 2 年度：質感の表現についてのシンポジウム</li> <li>・ 3 年度：都市と建築の外部色彩 AIJES 関連シンポジウム開催</li> <li>・ 4 年度：都市と建築の外部色彩 AIJES 刊行</li> </ul>		
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：なし</p> <p>主査 宮本雅子 (滋賀県立大学) 幹事 熊澤貴之 (岡山県立大学) 委員 池田圭介( (株) 松田平田設計)、石田泰一郎 (京都大学)、稲垣卓造 (大同大学)、井上容子 (奈良女子大学)、飯島祥二 (琉球大学)、大野 治代 (大手前大学)、郭清蓮 (金沢工業大学)、北村薫子 (武庫川女子大学)、佐藤仁人 (京都府立大学)、中山和美 (東京電力 (株))、名取和幸 ((財) 日本色彩研究所)、楨究 (実践女子大学)、山本早里 (筑波大学)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>街路景観色彩のアカデミックスタンダード準備 WG 街路景観の AIJES を刊行するのに必要なデータを収集すること</p> <p>建築室内の色彩と材料の実態調査 WG 建築空間に使用されている色彩および素材の実態を調査すること</p> <p>建築色彩と質感の記録手法検討 WG 質感を現実に近い状態で記録する画像の撮影法および再生法について検討すること</p> <p>視覚的質感の記述法提案 WG 建築仕上げ材の視覚的質感を定量的に記述する手法を提案すること</p>		
2011 年度予算	62,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	<p>小委員会 5 回 (年度内計画を含む)</p> <p>建築室内の色彩と材料の実態調査WG 3 回 (年度内計画を含む)</p> <p>街路景観色彩のアカデミックスタンダード準備WG 5 回 (年度内計画を含む)</p> <p>建築色彩と質感の記録手法検討 WG 2 回 (年度内計画を含む)</p>
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	1. なし

講習会	1. なし
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. シンポジウムの実施 「建築写真撮影・再生法 見た目を再現するために考慮すべきこと」 参加者数 27名
大会研究集会	1. なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. アカデミックスタンダード刊行のためのデータ収集 2. シンポジウムの開催 3. 秋田見学による木材の質感・色のデータ収集 (秋田県立大学木材高度加工研究所、製材工場、旧料亭金勇、出席者8名)
委員会活動の問題点・課題	1. 定員により、小委員会としての新規委員募集が難しいこと